

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第30号	
事故等種類	火災	
発生日時	不明（平成22年2月14日08時55分ごろ、機関室からの煙を発見）	
発生場所	福井県敦賀半島東方沖 敦賀市立石岬灯台から真方位154° 3.5海里付近 (概位 北緯35° 42.6′ 東経136° 03.0′)	
事故等調査の経過	平成22年2月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 遊漁船 ^{あやひめ}綾姫丸、5トン未満（長さ9.90m）</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 251-9148福井、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	機関室及び操舵室焼損（全損処分済）。	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、釣り客4人を乗せ、平成22年2月14日（日）08時45分ごろ、係留地のマリーナを発して釣り場に向かい、主機を回転数毎分2,800～3,000にかけ、速力を約16～17ノットとして航行中、08時55分ごろ、機関室から煙が噴出して火災が発生した。</p> <p>船長は、操舵室に備え付けられていた持運び式粉末消火器1本を使用して消火活動を行ったものの、消火することができなかった。</p> <p>本船は、付近にいて火災に気付いて来援した僚船などから放水を受け、09時54分ごろ鎮火し、10時50分ごろ、救助船にえい航されてマリーナに帰着した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：平穏</p>	
その他の事項	<p>浸水及び油の流出はなかった。</p> <p>乗船者は、5人全員が僚船に移乗して救助された。</p> <p>主機排気管ミキシングノズル部のゴムホースが焼損して大きく破口していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は敦賀半島東方沖を航行中、主機排気管冷却用の海水系統に何らかの異変が生じ、冷却海水が通水しなくなった可能性があると考えられる。</p> <p>冷却海水が通水しなくなったことから、主機の排気管が著しく過熱し、ミキシングノズル部のゴムホースが焼損して破口を生じ、破口部から、高温の排気ガスが室内に噴出して周囲の可燃物に着火して</p>

		燃え広がった可能性があると考えられるが、焼損が甚だしく、発火源及び火災発生過程を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、敦賀半島東方沖を航行中、機関室内で火災が生じたことにより発生した可能性があると考えられるが、原因を明らかにすることはできなかった。	